

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 大府商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考						
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価			今後の展開・改善点等					
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努める。また、課題解決提案・経営革新への積極的な支援を実施する。 特に巡回指導は4人の経営指導員により、多忙な小規模事業者にとっては訪問することで時間的短縮が図られる上、出向いて聞くまでもない様な些細な相談を受けることができる。	巡回指導 実企業数 155件 延べ件数 240件 窓口相談指導 実企業数 586件 延べ件数 1,687件 課題解決提案件数 48件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 116.6%)			指標	課題解決提案件数 (達成度 120.0%)			小規模事業者に対し、補助金申請のノウハウなど支援を効果的に行う事ができた。(小規模事業者持続化補助金の申請件数92件、採択件数は71件、採択率77.2%)	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者は様々な角度から支援が必要であることを考慮し、重点的に支援を行う。今後も現行どおり計画目標を定めて継続実施する。
				目標数値	1652	実績数値	1927	目標数値	40	実績数値	48				調査結果 事業者への	B	A	現行どおり	現行どおり	
記帳継続指導	正しい経理と帳簿慣行を身につけてもらい、経理管理や納税の適正化を促す。	指導対象企業数 93件 指導延べ日数 570日 指導延べ回数 1,451回	小規模事業者	指標	指導対象企業数 (達成度 103.3%)			指標				小規模事業者の記帳意識の向上を図り、適正な税務申告を促進するとともに、経営改善がなされた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	巡回・窓口やホームページによるPRなど、新規加入促進を積極的にを行い、指導対象企業数の増加に努めると共に、経営状況に応じた提案型指導を心掛ける。
				目標数値	90	実績数値	93	目標数値		実績数値					調査結果 事業者への	A	A	現行どおり	現行どおり	
講習会等	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努める。具体的には月1回の定例税務相談を始め年末調整、確定申告の勉強会及び集合受付、経営に関する講習会を開催する。	集団指導 3回 延べ38件 個別指導 55回 延べ229件	小規模事業者	指標	集団指導参加者数 (達成度 31.7%)			指標	個別指導参加者数 (達成度 86.4%)			定例の集団及び個別講習会を開催することにより、小規模事業者が税務、金融、労務について正しい知識を身につけることができた。なお、新型コロナウイルスの影響により理美容などの講習会が中止となり、集団指導の参加者数が目標を下回った。また、金融相談なども同様に中止となり、参加者数が目標を下回った。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	定例の講習会は広く認知されており、定例以外でも時代のニーズにあった有益性の高い講習会を企画する。次年度もコロナ感染拡大に考慮しつつ、効果的な運営に努める。
				目標数値	120	実績数値	38	目標数値	265	実績数値	229				調査結果 事業者への	B	A	現行どおり	現行どおり	
若手後継者等育成事業	小規模事業者・中小企業者は大企業とは異なり、自己変革に繋がる機会が少ない。この状況を変え、小規模事業者等の自己研鑽、人格教育、経営能力の向上に資する機会を設けて、企業の発展と地域社会の繁栄に貢献する。併せて、会員相互の連携と親睦を図る。	地域振興事業、研修会等 事業開催回数 青年部 14回 女性会 1回 延べ参加者数 423名 (青年部388名、女性会35名) 青年部会員数 89名 女性会会員数 48名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	青年部会員数 (達成度 150.8%)			指標	女性会員数 (達成度 77.4%)			各種事業を企画・運営することにより、会員の資質向上を図る事が出来た。又、コロナ禍の中、地域を元気づける事業の実施により、大府市の活性化が図られただけでなく、青年部、女性会という団体を市民に向けてPRできた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	青年部は、経営者等会員の資質向上に努める。女性会は、高齢化が進んでいる事から、引き続き若手会員の増強を図り、今後の事業運営の安定を図る。
				目標数値	59	実績数値	89	目標数値	62	実績数値	48				調査結果 事業者への	B	A	上げる	下げる	
若手後継者等育成事業 「全国会長研修会」【青年部】	地域のために取り組む高い志をもった各地域の会長、次年度会長などが一堂に会する全国会長研修会に参加することは、地域経済を担うリーダーとしての資質の向上と意識の高揚につながる。また、各地の青年部の課題等に関する意見交換は、青年部組織の活性化と一層の充実・新たな人脈づくりにもつながる。	開催日 令和2年11月20日(金) 21日(土) 会場 iichiko グランシアタ等 ※新型コロナウイルス感染症により、オンラインで参加 参加者、2名 竹田隆彦(令和2年度会長)、小山祐一郎(令和3年度会長予定者)	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	参加者数 (達成度 100.0%)			指標	満足度 (達成度 115.0%)			全国の青年部会員との交流によって、見聞を広めることができた。記念講演により「将来を見抜く先見性」の重要性を学ぶことができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	R3年度も引き続き、全国会長研修会へ参加する。
				目標数値	2	実績数値	2	目標数値	80	実績数値	92				調査結果 事業者への	A	A	現行どおり	現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 大府商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考				
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等		
				指標	実績	達成度	指標	実績	達成度	総合評価	事業実施評価	調査結果	必要性		満足度	補足	目標①	目標②
若手後継者等育成事業 青年部地域振興事業「DRIVE IN FESTIVAL 大府冬の陣」【青年部】	新型コロナウイルスの感染拡大により、各種イベントは中止となり、今後の開催も厳しい状況である。地域の活力が減少している昨今において、『今』だからこそ出来る2つの地域活性化事業を開催する。 ランチマルシェは、新型コロナウイルスの影響を受けている市内飲食店を盛り上げ、PR及び売上支援を目指す。 ドライブインシアターは、野外において車内から映画を鑑賞するという新しくも趣か楽しい非日常体験を市民に提供し、家族や仲間との団楽の時間を楽しんでもらう。	実施日時 令和2年12月20日（日） 11:00～21:30 実施場所：スギホールディングス大府センター 販売数・来場者数：ランチマルシェin大府での販売数1100食 ドライブインシアターの来場者数 92台382名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	来場者数 (達成度 102.2 %)	指標	満足度 (達成度 121.3 %)	参加者の満足度も非常に高く、例年になかった経験になった。	総合評価	A	事業実施評価	調査結果	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	次年度は2年度に実施予定だった職業体験とセミナーを実施する予定。
90	実績 92	92	80	実績 97	97	総合評価	A	事業実施評価	調査結果	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	次年度は2年度に実施予定だった職業体験とセミナーを実施する予定。			
目標数値	実績数値	達成度	目標数値	実績数値	達成度	総合評価	A	事業実施評価	調査結果	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	次年度は2年度に実施予定だった職業体験とセミナーを実施する予定。			
若手後継者等育成事業 「女性経営者に求められる資質向上講演会（終活セミナー）」【女性会】	高齢化が進む日本において、本女性会にも高齢の会員が多く在籍する。特に、商工業者においては、事業継承と共に自身の終活の両方に取り組む必要があり、負担は大きい。若手会員にとっても、将来的な課題でもある。 そこで、女性会として終活セミナーを開催することで自身の今後について見つめ直し、残りの人生設計や事業継承に役立ててもらおう。 また、女性会委員に講師を依頼することで委員の事業紹介も兼ねて開催する。	実施日時 令和2年10月28日（水） 参加者数 25名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	参加者数 (達成度 83.3 %)	指標	満足度 (達成度 125.0 %)	参加者の満足度も非常に高く有意義な事業となった。	総合評価	A	事業実施評価	調査結果	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	次年度は本事業でのセミナーは実施しない。
30	実績 25	25	80	実績 100	100	総合評価	A	事業実施評価	調査結果	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	次年度は本事業でのセミナーは実施しない。			
目標数値	実績数値	達成度	目標数値	実績数値	達成度	総合評価	A	事業実施評価	調査結果	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	次年度は本事業でのセミナーは実施しない。			
商店街振興事業（げんき商店街推進事業）	小規模商店の現状はいうまでもなく厳しい状況にあり、中心市街地の衰退は著しい。このような厳しい状況を少しでも打破するためには、魅力ある商店づくり（個店対策支援）が必要であり、これにより街にも活気が生まれ、ひいては、地域活性化が図られる。	「おおぶ・逸品運動」 参加店 23店 「おおぶふれあいセミナー」 講座数 24講座 「大府あきんど塾」 参加者 30名	小規模事業者	指標	参加事業所数 (達成度 67.0 %)	指標	満足度 (達成度 %)	新型コロナの影響があったものの、新しい生活様式に合わせて個店の魅力が消費者に伝わる事ができ、新規顧客の獲得や店との交流が生まれた。また、店主同士の横のつながりが強化され、地域商業活性化の一助となった。	総合評価	B	事業実施評価	調査結果	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	各店主が目指す数値目標を明確にし、より効果の高い事業となるような企画を実施していく。
115	実績 77	77	目標数値	実績数値	達成度	総合評価	B	事業実施評価	調査結果	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	各店主が目指す数値目標を明確にし、より効果の高い事業となるような企画を実施していく。			
目標数値	実績数値	達成度	目標数値	実績数値	達成度	総合評価	B	事業実施評価	調査結果	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	各店主が目指す数値目標を明確にし、より効果の高い事業となるような企画を実施していく。			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。